

第2回理事会報告

- 日 時 平成18年7月12日(水)午後3時~同4時20分
- 場 所 日本歯科医師会 801会議室
- 出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、高木忠雄、佐藤田鶴子、江里口 彰、
恵比須繁之、赤川安正、宮崎 隆、栗原英見、
荒木孝二
<理 事> 工藤逸郎、東理十三雄、石橋克禮、瀬戸皖一、
野口俊英、山根源之、福島和昭、岡野友宏、
山田好秋、森崎市治郎、佐貫直通
- 第21回日本歯科医学会総会
<会 頭> 大塚冰兵衛
<準備委員長> 伊藤公一
<事務局長> 松村英雄
- 欠席者 <常任理事> 川添堯彬、相馬邦道、土屋友幸
<理 事> 中垣晴男

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の挨拶がなされた。

2. 挨 拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

引き続き、大塚会頭から、第21回日本歯科医学会総会の準備に関わる進捗状況報告を含めた挨拶がなされた。

3. 報 告

(1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

- 一般会務報告（平成18年4月1日～7月11日）
- 第1回理事会報告（平成18年4月14日開催）
- 第1回常任理事会報告（平成18年4月14日開催）
- 第2回常任理事会報告（平成18年5月12日開催）
- 第3回常任理事会報告（平成18年6月19日開催）

(2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

- 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告
（平成18年4月1日～7月11日）

(3) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき会計現況報告がなされた。

- 学会会計（平成18年4月1日～6月30日）
- 第21回日本歯科医学会学術大会会計（平成18年4月1日～6月30日）

(4) 平成18年度学術講演会の開催について

住友総務理事から、平成18年度学術講演会について企画意図、ポスター（コピー）に基づき、関係方面へのPR協力依頼を兼ねた報告がなされた。

(5) その他

- 住友総務理事から、次の資料に基づき、報告がなされた。
 - 日歯第1回戦略会議議事次第・資料（平成18年7月6日開催）
 - 日歯第1回研究機関設立準備委員会（平成18年7月6日開催・口頭報告）
 - 「歯保連」設立懇談会を日歯・連盟・学会の役員構成により、大久保日歯会長の下に設置する。（口頭報告）
 - 歯科医療機器産業ビジョンについて（口頭報告）
 - 日歯・学会・連盟合同ワークショップ湘南（平成18年5月18・19日開催）報告書

- 歯科診療ガイドライン作成検討臨時委員会（仮称）の設置（口頭報告）
- 学際領域教育問題検討臨時委員会（仮称）について（口頭報告）

4. 協 議

（1）評議員会議長および副議長の選出について

住友総務理事から、標記について諮られ、第76回評議員会（7月28日開催）に「評議員会議長および副議長の選出」を第1号議案として上程することに決定した。

（2）平成17年度学会会計収支決算について

高木常任理事から、第76回評議員会に提案する標記決算案について、縷々説明がなされ、これを全会で承認した。

なお、摘要欄の表示の仕方等、微調整の必要が生じた場合には、江藤会長一任とした。

（3）名誉会長の推戴に関する件について

住友総務理事から、標記について諮られ、第76回評議員会に「名誉会長の推戴に関する件」を第3号議案として上程することに決定した。

（4）学会第76回評議員会の運営について

住友総務理事から、標記評議員会の開催について、日程（案）並びにタイムスケジュール（案）に基づき説明がなされ、原案どおり全会で了承した。

なお、協議(2)に、「助成金のあり方について」を挿入することとした。

□開催日時：平成18年7月28日（金） 午後2時

□議 事：第1号議案 評議員会議長および副議長の選出

第2号議案 平成17年度学会会計収支決算

第3号議案 名誉会長の推戴に関する件について

（5）その他

- 住友総務理事から、新規加入学会のあり方（基準制定）について、骨子（案）に基づき説明がなされ、協議の結果、骨子（案）を一部修正の上、第

76回評議員会で協議題として提案することとした。

また、第76回評議員会の協議題の2番目に「助成金のあり方について」を追加すること、また、平成19年4月の基準制定を目標に作業を進めることを確認した。

なお、主な意見は以下のとおり。

【主な意見】

- この基準の制定目的は、学会の求心力を強化することだが、求心力を高めるために行う具体的な方法とはどのようなものなのか。
- 研究分野が重複している学会がたくさんあると求心力を失う可能性もあるのではないか。
- 多くの学会が加入することで評議員の数が増える可能性があるが、予算等に問題はないのか。
- 助成金は、これまで各学会の規模、会員数で分配されていたが、今後は各学会の事業を審査の上、助成したほうがよいのではないか。また、日歯から緊急の課題等がある場合は、それを行う学会に助成金を出し、学会間で競争的な意味合いを持たせた方がよいのではないか。
- 日歯から学会に求められているのは、歯科医療に対する学術的根拠を作ることである。診療報酬の底上げのガイドラインを作り、平均値を上げるための学術的根拠を提供することが必要なため、多くの学会に加入してもらって、知識、知恵を得ることが必要である。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞。